Panasonic®

# 設置説明書

## ホームネットワークカメラ　屋外設置タイプ

品番　**BL-C161KT**



■設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

**設置をされる方へ**

■この設置説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
■特に「安全上のご注意」は、設置前に必ずお読みいただき、安全に設置してください。
■カメラ本体と送電装置までの総配線距離は**30 m以内**となるようにしてください。
■正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
●設置終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

# 表記について

## 表記について

- 本書では、「ホームネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。
- 本書では、「セットアップCD-ROM」を「CD-ROM」と表記しています。

## マーク表記について

- お 願 い ...........設置上、お守りいただきたい重要事項や禁止事項を記載しています。必ずお読みください。
- お知らせ ...........操作の参考となることや、補足説明を記載しています。
- （☞ ○ ページ）......説明上、参照していただきたいページを記載しています。
- 本書では、セットアップCD-ROM内の取扱説明書の「項目一覧」から、参照していただきたい項目を以下のように表記しています。
  例：➔CD-ROM内の取扱説明書：「[C7-11] カメラをバージョンアップする」

## 商標／登録商標について

- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

## プライバシー・肖像権について

カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

# もくじ

# 設置のながれ

## ■ 設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

## ■ 本書をお読みいただく前に、取扱説明書(ご使用の前に)を必ずお読みください。

## ■ 設置をされる方へ

- ●カメラ本体と送電装置までの総配線距離は**30 m以内**となるようにしてください。
- ●正しく、安全にご使用いただくための設置方法について記載しています。よくお読みのうえ、設置の手順に従って正しく設置してください。
- ●正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- ●設置終了後は、必ず本書をお客様にお渡しください。

**下記の項目をよく読む**

●安全上のご注意(☞ 8~9 ページ)
●設置上のお願い(☞ 10 ページ)
●各部のなまえとはたらき(➔ CD-ROM内の取扱説明書:「[C8-1]各部のなまえとはたらき」)

**カメラを接続し設定する**

(☞ かんたんガイド)

**カメラを設置する**

(☞ 21 ページ)

**センサーの検知範囲／感度を調整する**

(☞ 30 ページ)

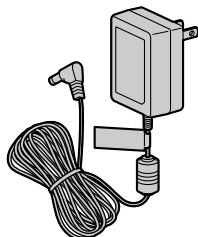
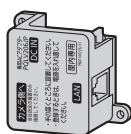
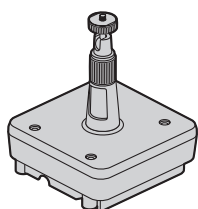
**お知らせ**

●設置後に「みえますねっとLiteサービス」（有料）に申し込む場合は、CD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。（➔ CD-ROM内の取扱説明書：「[C1-7-1] 設定画面から「みえますねっとLite」サービスに申し込む」）

# 付属品・添付品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。
本製品の付属品以外にご用意いただくものについては、20 ページを参考にしてください。

## 付属品

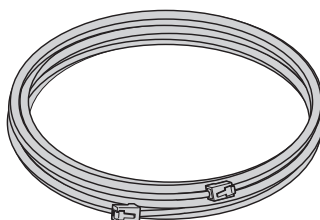
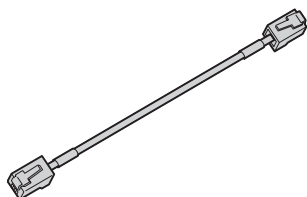
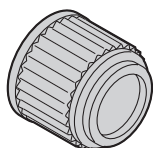
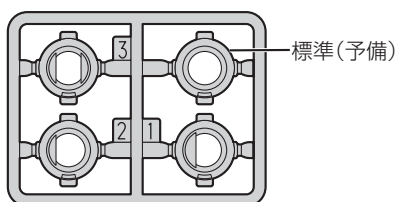
□ **ACアダプター** ...................... 1個
（コード長さ 約3 m）

□ **送電装置** ............................... 1個

□ **スタンド** ............................... 1個

□ **安全ワイヤー** ........................ 1本
（長さ 約0.3 m）

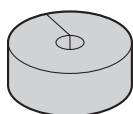
□ **ねじ**
**ねじA**（4 mm×20 mm）
........................................... 15本

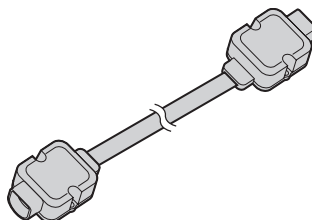
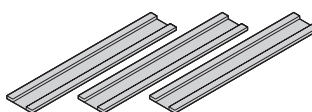
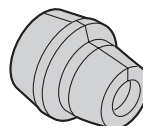
**ねじB**（2.6 mm×10 mm）
............................................... 1本
（本体と安全ワイヤー取り付け用）

□ **ワッシャー（大）** ................. 1個
（壁側での安全ワイヤー固定用）

□ **ワッシャー（小）** ................. 1個
（本体側での安全ワイヤー固定用）

□ **屋外LANケーブル** ................ 1本
（長さ 約8 m）

□ 屋外LANケーブル................ 1本
（長さ 約0.2 m）

□ 防水キャップ........................ 1個

□ センサー範囲調整キャップ
................................................ 1式



□ 防水用スポンジ......................1個

□ 自己融着テープ.................... 1個

□ すきま用LANケーブル........ 1本
（長さ 約0.5 m）

□ 両面テープ............................ 3枚
（すきま用LANケーブル用）

□ 防水ゴムA............................ 1個
（本体と0.2 m屋外LANケーブル用）

□ 防水ゴムB............................ 1個
（すきま用LANケーブルと8 m屋外LANケーブル用）

## 添付品

□ 取扱説明書（ご使用の前に） ............. 1冊
□ かんたんガイド .................................... 1部
☑ 設置説明書（本書） ............................ 1冊
□ セットアップCD-ROM....................... 1枚
（取扱説明書（ご使用の前に）、
かんたんガイド、設置説明書、
取扱説明書、セットアップソフトウェア）
□ 保証書 ................................................... 1式

□ カメラ作動中ステッカー.................... 1枚
□ QRコードシール
（本体の背面にはり付け） ................... 1枚
□ みえますねっと／みえますねっと
Liteガイド............................................ 1部
□ 「CLUB Panasonic」ご愛用者登
録について............................................ 1枚

# 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

| | | |
|---|---|---|
|  | 警告 | 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。 |
|  | 注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

| | |
|---|---|
|  | してはいけない内容です。 |
|  | 実行しなければならない内容です。 |

## ⚠ 警告

### 本製品を壁に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける

落下により、けがの原因になります。

### 不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けない

（石こうボード・ALC（軽量気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm 以下のベニヤ板など）

禁止

落下により、けがの原因になります。

### センサーキャップは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込む恐れがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### 設置・配線工事の際の壁や天井への穴あけや、AC アダプターのコードやケーブルを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない

禁止

漏電・感電・火災などの原因になります。

### 配線工事は、安全・確実に行う

禁止

誤った配線工事は感電や火災の原因になります。

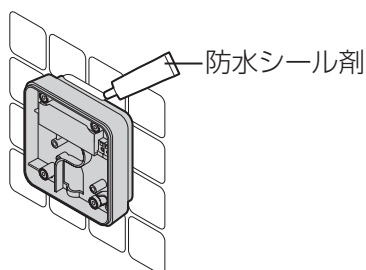
### 雷のときは配線工事をしない

禁止

火災・感電の原因になります。

# ⚠警告

## スタンドと取付面についてはスタンド下部以外をコーキングし、すきまを埋める

〔スタンド外周部と取付面のすきまに、防水シール剤などを塗る〕

防水が不完全な場合、機器の故障や設置する家屋の壁中に水が浸入する原因になります。

## AC アダプターを破損するようなことはしない

〔傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、重い物を載せたりしない〕

禁止

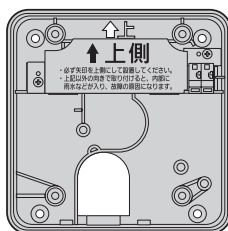
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●修理は、販売店にご相談ください。

## ケーブルの接続時は、防水ゴム、防水キャップ、自己融着テープで防水処理を行う

火災・感電の原因になります。

# ⚠注意

## スタンドは「⬆上側」の表示が上側になるように取り付ける

上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、機器の故障の原因になることがあります。

## 土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない

禁止

絶縁劣化により、感電の原因になることがあります。

## 土中埋設配線する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする

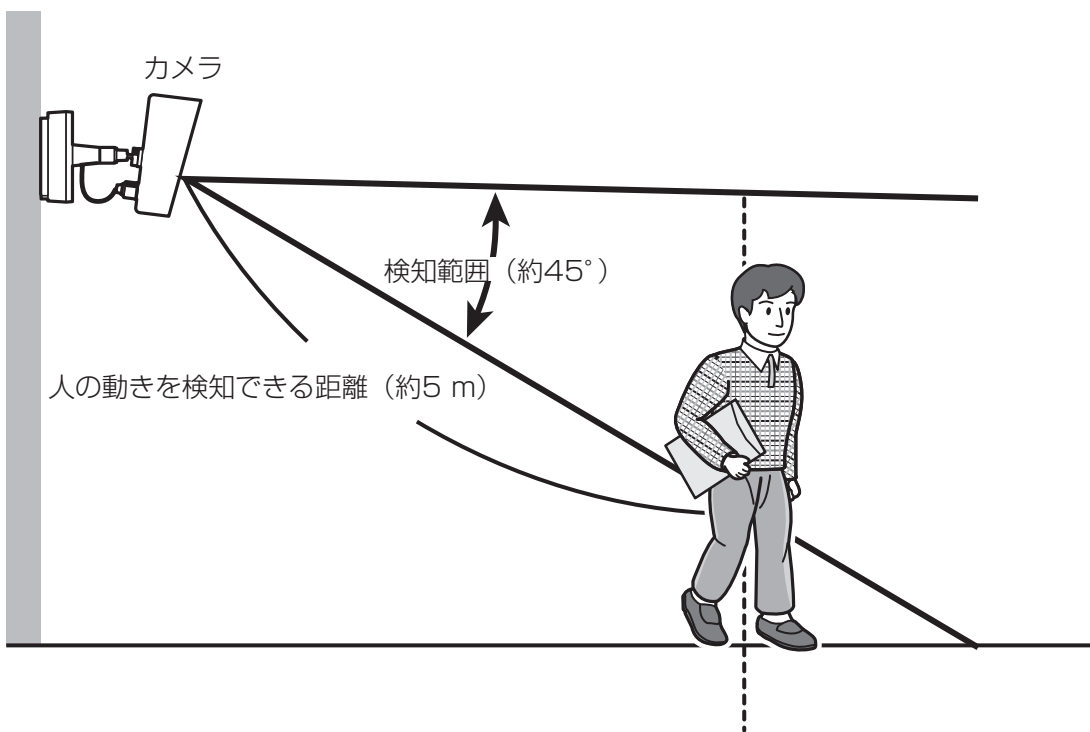
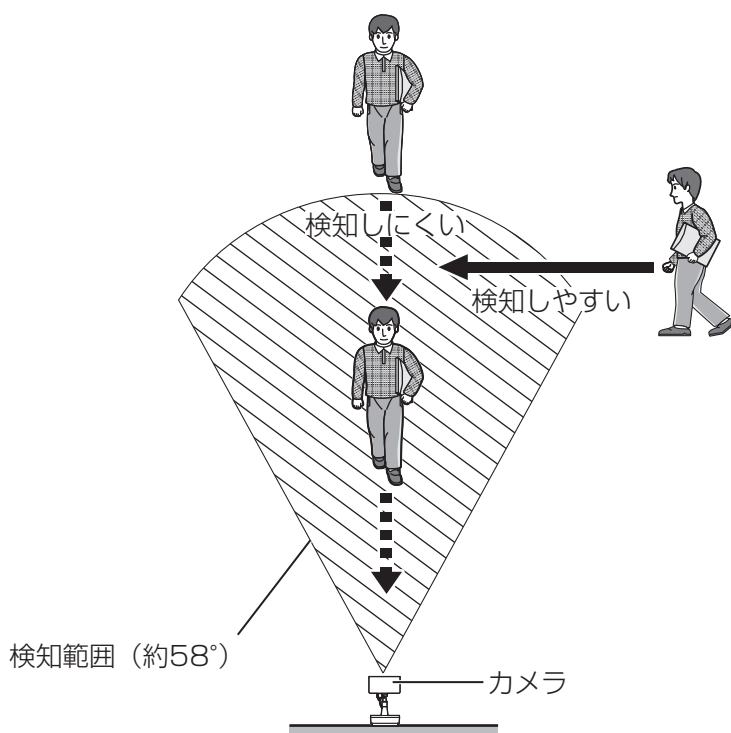
感電の原因になることがあります。

# 設置上のお願い

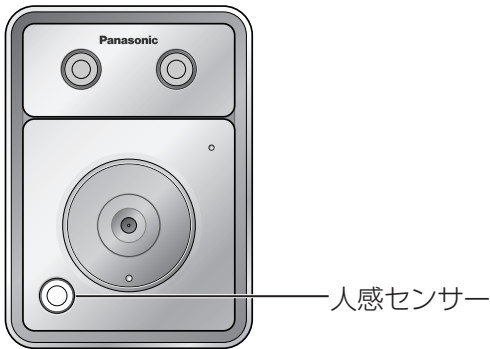
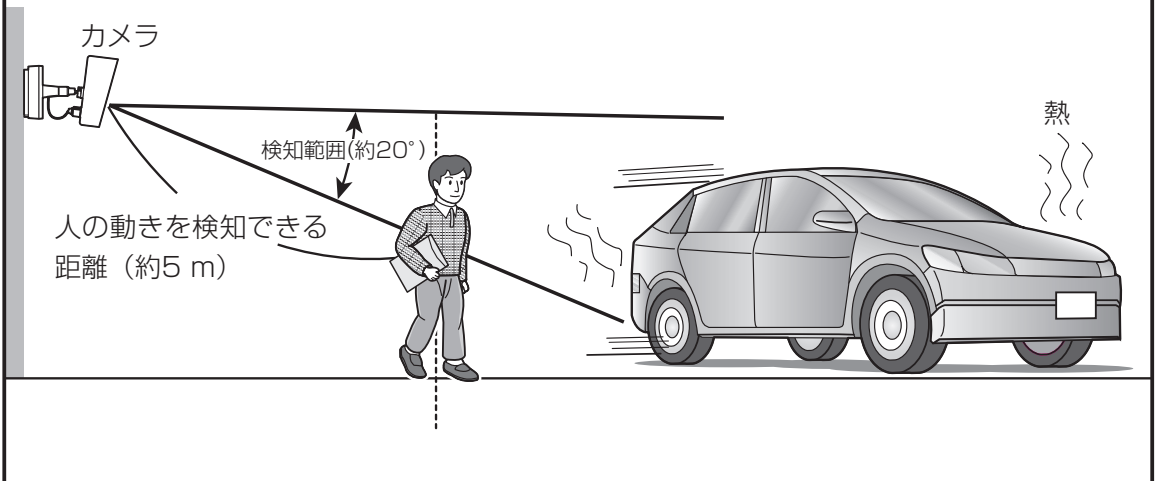
動作検知と人感センサーの検知範囲と特性を理解したうえで、適切な場所にカメラを設置してください。

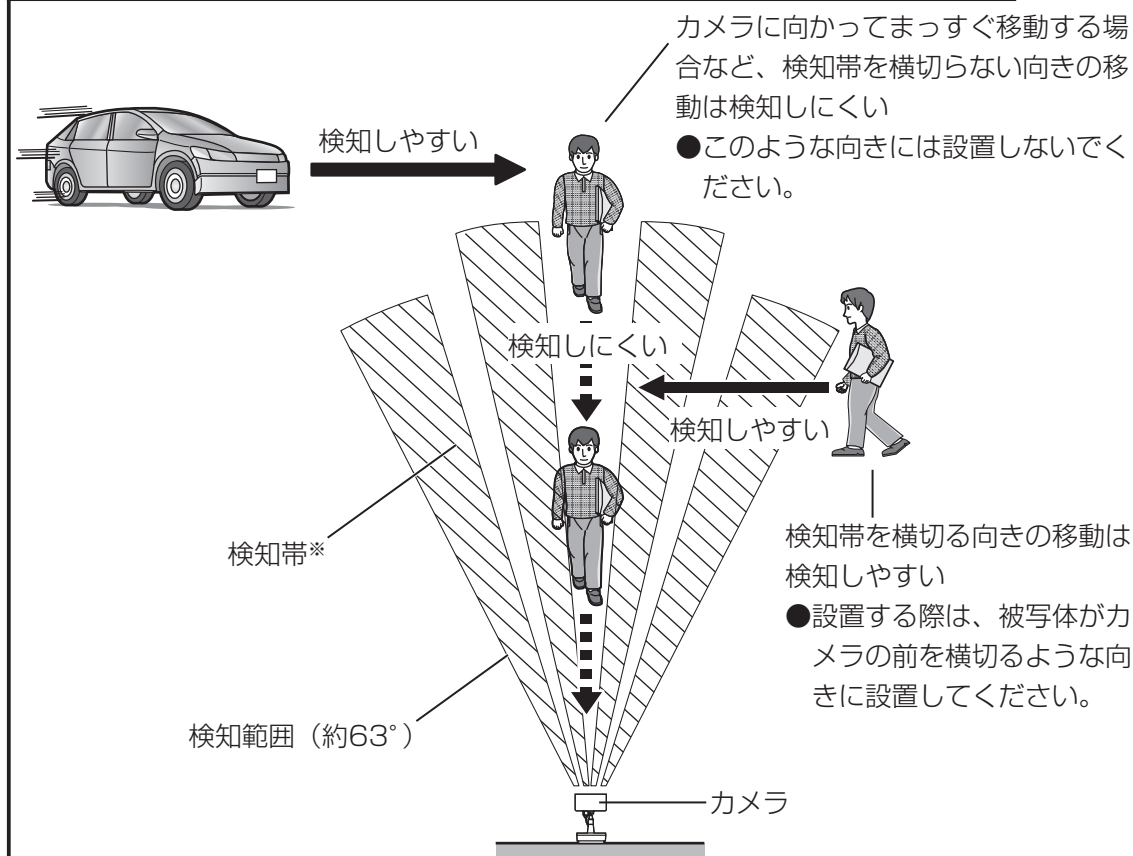
## 検知範囲と特性

### 動作検知について

カメラが撮影した画像内の変化を検知します。

- 動いている被写体と背景の色が似ているときは、動作を正しく検知しない場合があります。
- 外部照明の点灯時など、全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合があります。
- LEDライトの点灯/消灯の直後最長2秒間は、動作検知が動作しません。

● 暗くなると検知しにくくなります。
● 動作検知機能は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。

## 人感センサーについて

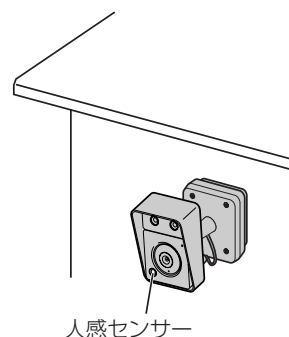
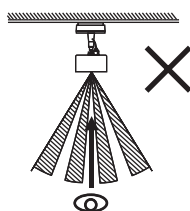
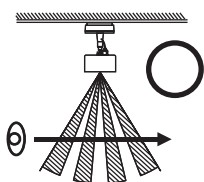
人や動物などの温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知するセンサーです。（車のマフラーやボンネットなどの外気温との差が大きいものにも反応します）

- 夏場など外気温が高いときは、被写体（人の体温など）との温度差が小さくなり、センサー検知しにくくなります。
  逆に、夜間や冬場など外気温が低くなったときは、温度差が大きくなるため、センサー検知しやすくなります。
- カメラで撮影したい方向に道路がある場合は、通行している車に反応することがあります。
  設置例1または2（☞ 17～18 ページ）をご覧のうえ、カメラの撮影方向に道路がこないようにしてください。

## 人感センサーの特性(検知しやすい向き、検知しにくい向き)(周囲の温度が約 20 ℃のとき)

※熱を検知する帯で、人感センサーから複数本出ています。
この検知帯域に熱源（人や車など）が出入りすると、温度変化が発生します。
センサーはその温度変化を検知して動作します。
上図の破線矢印（■■■■▶）のように、カメラに向かってまっすぐ移動すると、検知帯への出入り口が少ないために検知しにくくなります。

## 設置するとき

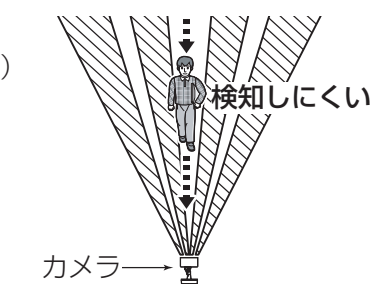
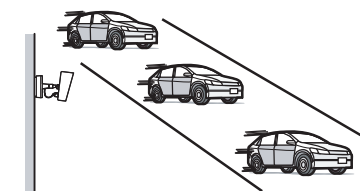
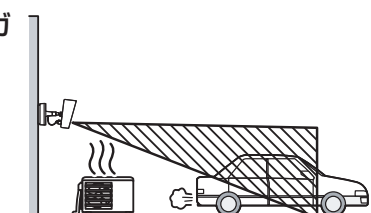
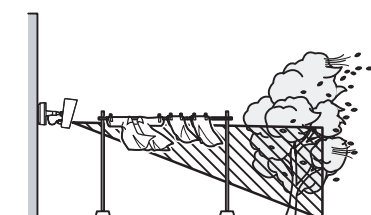
本製品は軒下など直射日光や風雨が直接あたりにくい場所に設置してください。
また、設置の際は、次の点にご注意ください。

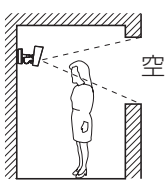
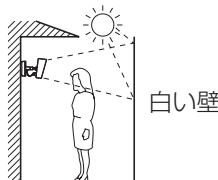
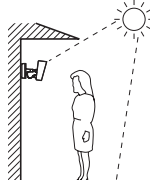
- 「正しくお使いいただくためのお願い」(☞ 取扱説明書(ご使用の前に))を確認してください。
- 天井には、取り付けないでください。
- カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。

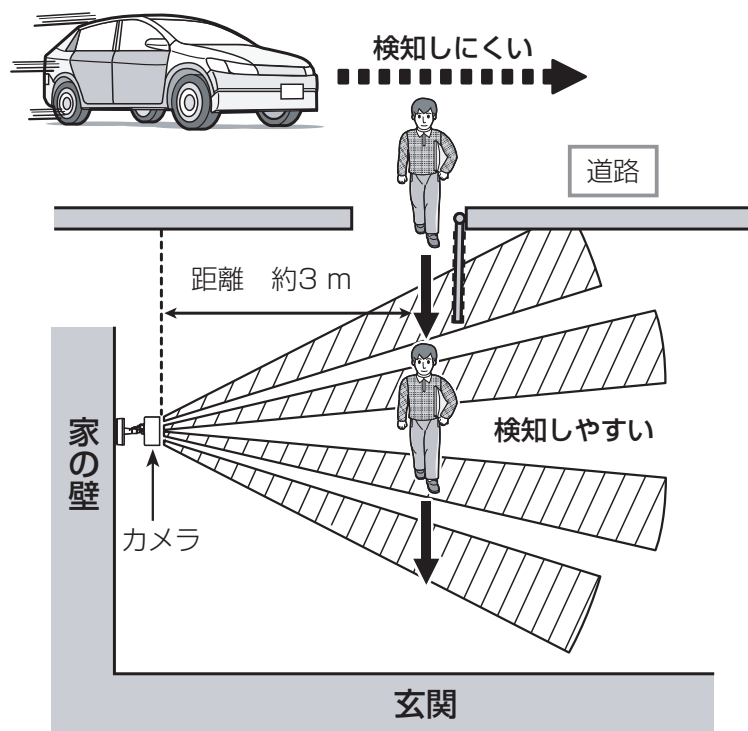
〔人感センサーは横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。**詳しくは、13 ページを参照してください。**〕

〔カメラを上から見たとき〕

検知距離が5 m以下になる場合あり

- カメラの向きは、人感センサーが必ず下側になるように取り付けてください。
  (逆さに取り付けると、画像が逆になります。)
- 隣家と近接した場所に設置するときは、LEDライトの光が隣の家に迷惑をかけないようにカメラ角度を調整してください。

## こんなところには設置しない（誤動作、変形、故障の原因）

● **真正面から人物が近づいてくるような場所**
（狭い通路などで、人が真正面から近づいてくるような場所）
➔ 11、13 ページを参照してください。

● **車の交通量が多い道路がある場所**
（約5 m以上離れていても、車にはセンサー反応します。）

● **換気扇、エアコンの室外機、給湯器などの風や、車の排気ガスなどの影響を受ける場所**
（急激な温度変化により、誤検知しやすくなります。）

● **風などで動くような植木、洗濯物などがある場所**
（温度変化により、誤検知しやすくなります。）

● 直射日光があたる場所や外灯の真下など、周囲の温度が高くなる場所
● 振動・衝撃や、反響の多い場所
● 火気・熱器具や、磁石などの磁気の近く
● 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物がある場所
● 油汚れがついたり、蒸気がかかる場所
● 携帯電話など強い電波を発する製品の近く
● 硫化水素、リン、アンモニア、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生する場所
● 海岸の近くや直接潮風があたる場所、温泉地の硫黄環境
（塩害などにより製品寿命が短くなることがあります。）
● 昼間でも木陰などで影になったり、夜でも外灯で明るくなるなど、明るさが変わりやすい場所
● 下記のように逆光になる場所（人の顔が暗く映り、判別しにくくなります。）

マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい場所

正面に、直射日光が反射する白壁がある場所

直射日光が当たるような、明るい場所

## 推奨する設置位置

### 上から見た場合

検知しにくい

道路

距離　約3ｍ

家の壁

カメラ

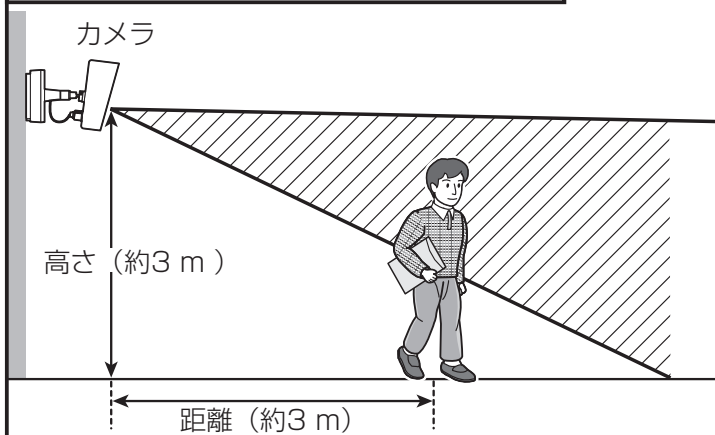
検知しやすい

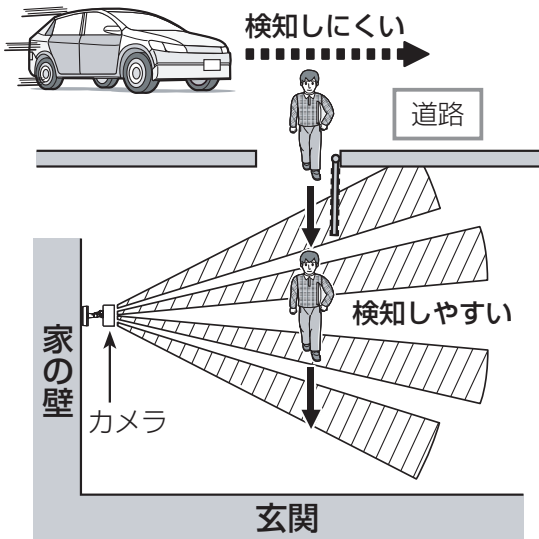
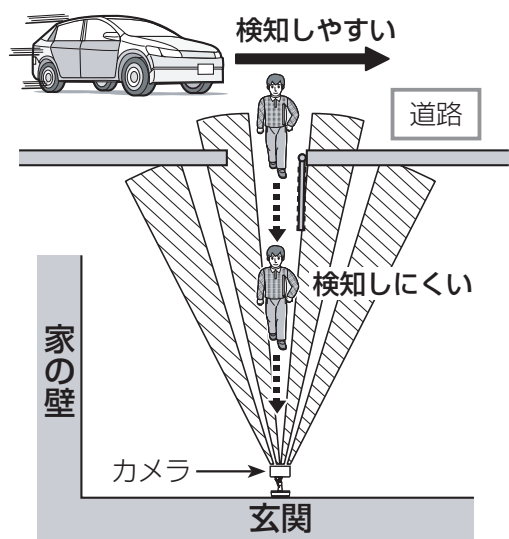
玄関

門からの侵入者は検知しやすく、前の道路を通る人や車は検知しにくい

［センサーの検知範囲を調整することもできます。（☞ 30 ページ）］

● ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき（☞ 17、18 ページ）

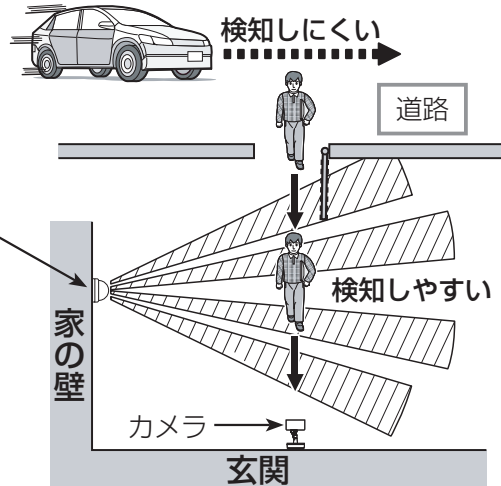
### 横から見た場合

## 設置例

設置例１　玄関口（門）から入ってくる人を検知したいとき

| 良い例 | 悪い例 |
|---|---|
|  |  |
| 門からの侵入者は検知しやすく、前の道路を通る人や車は検知しにくい<br>〔センサーの検知範囲を調整することもできます。（☞ 30 ページ）〕<br>● ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき（☞ 下記） | 前の道路を通る人や車は検知しやすく、門からの侵入者は検知しにくい |

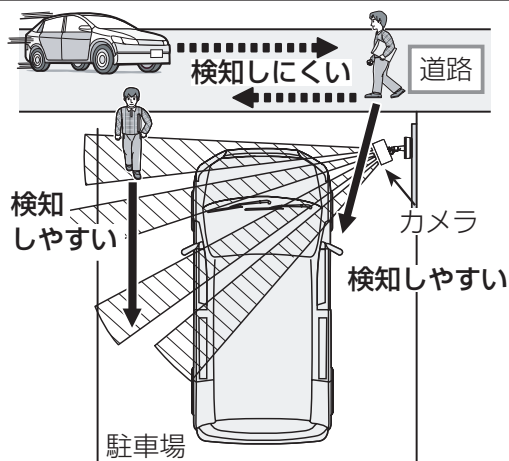
### 設置参考例（市販の外部人感センサーを使用する）

本機と、外部人感センサーを下図のように設置すると、門からの侵入者を検知してさらに正面から映すことができます。

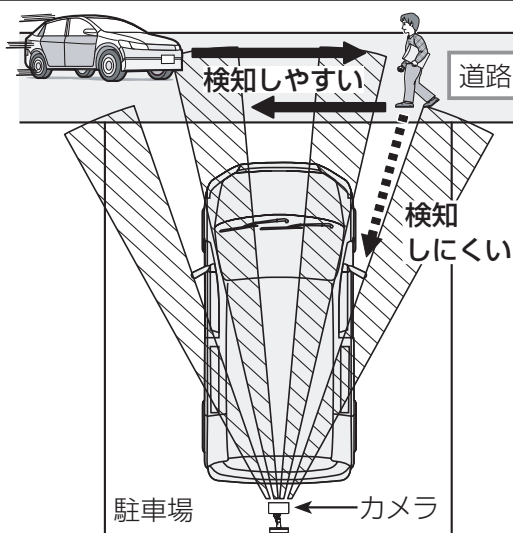
外部人感センサー（推奨品：動作確認済み）
竹中エンジニアリング（株）製
品番：MS-100A
（AC100 V 配線が必要）

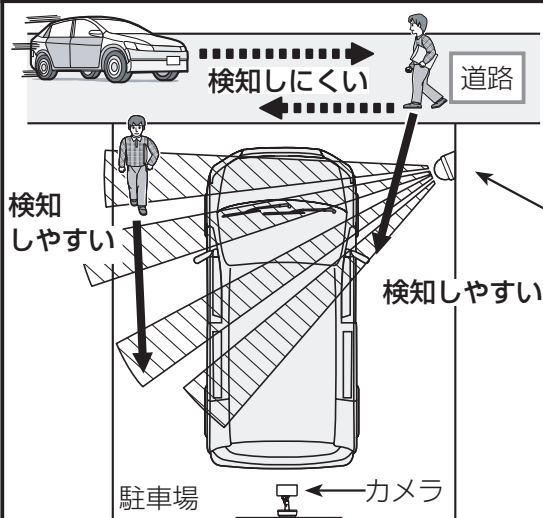
● 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。

設置例2　駐車場の中に入ってくる人を検知したいとき

## 良い例

検知しにくい
道路
検知
しやすい
カメラ
検知しやすい
駐車場

駐車場への侵入者は検知しやすく、駐車場前を通る人や車は検知しにくい
（センサーの検知範囲を調整することもできます。（☞ 30 ページ））

- 車高の高い車の場合は、侵入者の顔がカメラから映るようにカメラを設置してください。侵入者が車に隠れてしまい検知できないことがあります。
- ただし、侵入者が横向きに映りやすくなります。正面から映したいとき（☞ 下記）

## 悪い例

駐車場前を通る人や車は検知しやすく、駐車場への侵入者は検知しにくい

## 設置参考例（市販の外部人感センサーを使用する）

本機と、外部人感センサーを下図のように設置すると、駐車場への侵入者を検知してさらに正面から映すことができます。

外部人感センサー（推奨品：動作確認済み）
竹中エンジニアリング（株）製
品番：MS-100A
（AC100 V 配線が必要）

- 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。

## LEDライトの明るさについて

### ■ LEDライトは、センサー検知時の威嚇用です。

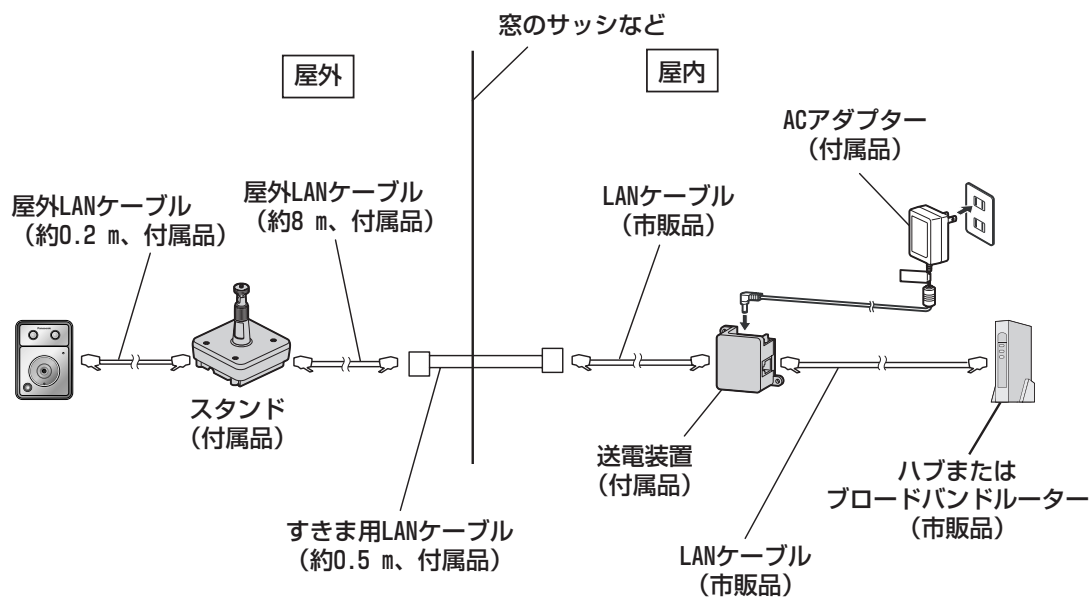
人などの動きを検知するとLED ライトが点灯しますが、照明用の光量はありません。
（LEDライトの光量：正面3 mで約8.5ルクス、正面から左右20°/3 mで約2.5ルクス）

## 明るさ、距離の違いによる画像について

次の場合は、人の顔が判別しにくくなります。

- 昼間など明るいときでも、カメラから約**3 m**以上離れたとき
  ただし、撮影時の被写体の場所（日陰・逆光・撮影角度など）によっては、**3 m**以内でも映りが悪くなり、人の顔が判別しにくくなります。
- 夕方や夜間など、周りが暗いとき（画質が低下します）
- 動いている人の撮影では画像がぶれるため、顔の判別が難しくなります。

# 配線のながれ

次の図を参考に接続してください。

お知らせ

- カメラからLANケーブルを取り外す場合は、40 ページを参照してください。
- LANケーブルは、下記仕様の市販品をお買い求めください。
  LANケーブル: カテゴリー5以上、ストレートケーブル

# カメラを設置する

お願い

- 設置は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 正しく設置されなかった場合などの製品の故障および事故について当社は、その責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 穴を開けた部分については、必ず防水加工してください。
- カメラ本体と送電装置までの総配線距離は**30 m**以内となるようにしてください。
- 本体背面にはり付けられているQRコードは、必ず本体からはがして大切に保管してください。



## カメラを取り付ける

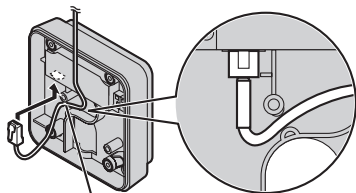
### 1 カメラ本体の設置場所を決める

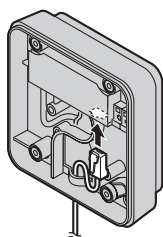
以下の点に留意し、カメラ本体の設置場所を決めてください。

- カメラ本体から送電装置までの総配線距離が**30 m**以内であること。
  付属の屋外LANケーブルは8 mです。8 m以上必要な場合は市販の屋外対応LANケーブルを別途準備してください。
- カメラ本体の近くに熱源となるもの（給湯器、エアコン室外機など）が無いこと。（カメラ本体の近くに熱源があると、人感センサーの誤動作の原因になります。）
- 人感センサーや動作検知のしくみについて、10 ～ 13 ページをよくお読みになった上で設置場所を決めてください。
- すきま用LANケーブルはサッシ以外では使えません。また、雨戸やシャッターなどがある窓でも使えません。
- カメラを仮設置した後に動作を確認し、配線と設置を行ってください。

### 2 スタンドカバーを外す

### 3 屋外LANケーブル（長さ約0.2 m）をスタンド左側の「データ／電源出力」端子に接続し、図のようにケーブルを押し込む

- 必ず付属のLANケーブルを使用してください。他のケーブルを使用すると、カメラに水が浸入するなど、故障の原因となります。

## 4 LANケーブルをスタンド右側の「データ/電源入力」端子に接続する

スタンド下部より付属の屋外LANケーブル（長さ 約8 m）を通し、スタンド右側のデータ/電源入力端子に接続してください。

**お 願 い**

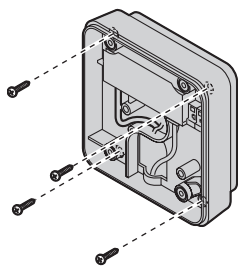
● LANケーブルは直接カメラに接続せずに、必ずスタンドの端子に接続してください。直接接続した場合、画像表示の状態表示設定を「表示する」に設定すると「E」の文字が常に表示されます。

## 5 （外部入力機器がある場合のみ）「外部入力端子」に配線材を接続する

● 外部センサーを使用する場合は、センサーを外部入力端子に接続してください。
「外部入力端子について」（☞ 29 ページ）に従って正しく接続してください。

● 配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。

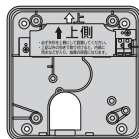
## 6 スタンドを壁面に確実に取り付ける

● ねじA（4本：4 mm×20 mm）で取り付けてください。
壁（モルタル・コンクリート）への取り付け例（☞ 23 ページ）

**不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁には取り付けない**

（石こうボード・ALC（軽量気泡コンクリート）・コンクリートブロック・厚さ2.5 cm 以下のベニヤ板など）

禁止

落下により、けがの原因になります。

**スタンドは「 ⬆上側 」の表示が上側になるように取り付ける**

上記以外の向きで取り付けると、内部に雨水などが入り、機器の故障の原因になることがあります。

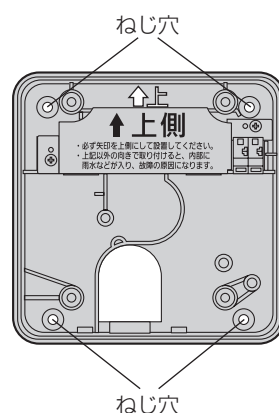
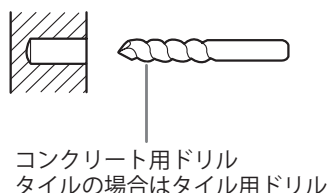
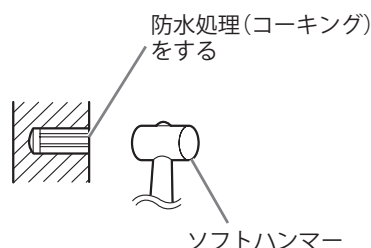
## ■ 壁への取り付け例

（例）材質がモルタルやコンクリートの場合

設置したい位置が決まったら、市販のドリルと専用のアンカー（ねじの呼び径4.0 mm）を用意し、以下の手順を参考に穴をあけてください。

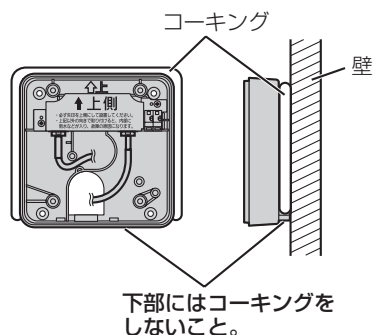
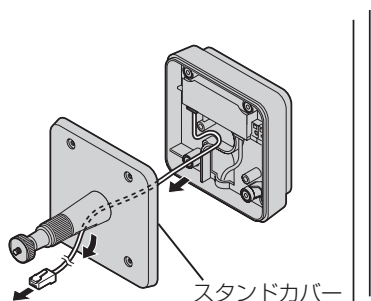
❶ **スタンドを設置したい位置に合わせ、ねじ穴から印を付ける（4カ所）**

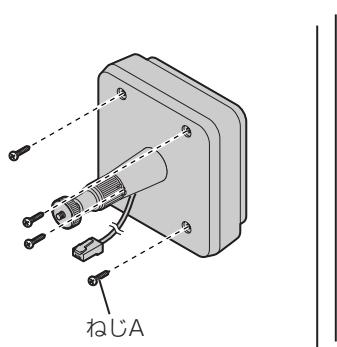
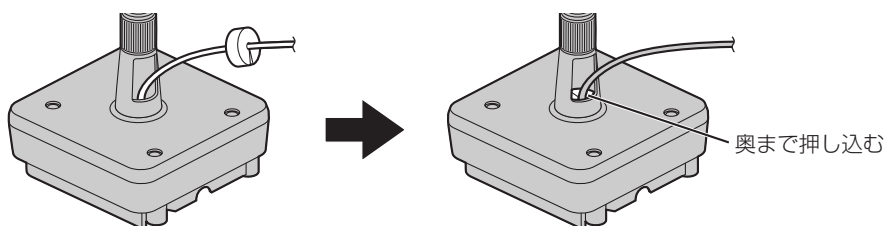
❷ **安全ワイヤーを取り付ける位置に印を付ける（1カ所）**

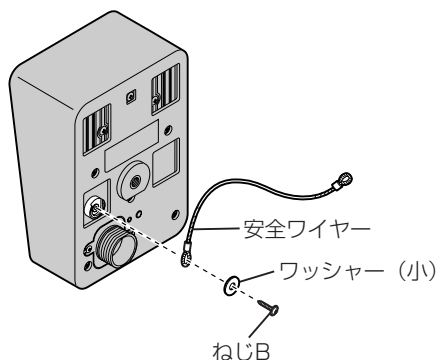
❸ **印に合わせて下の図のようにドリルで穴をあけ、アンカーを差し込み、ソフトハンマーなどで軽くたたく**

1. アンカーのサイズに合わせて、穴をあける
2. アンカーを差し込む（ソフトハンマーで軽くたたく）

❹ **カメラを設置する**

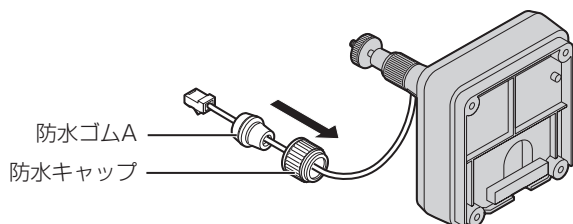
お願い

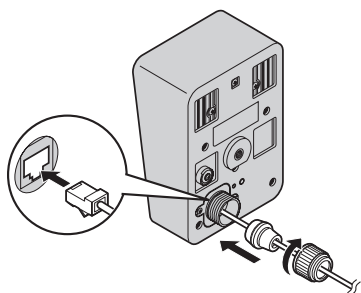
- 壁にあけるドリルの径の大きさは、用意したアンカーの説明書を参照してください。
- 工事は販売店もしくは施工業者に依頼されることをお勧めします。壁への穴あけ工事について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- モルタル塗壁の場合は、穴あけにより、古い壁が落ちることがありますので、注意して穴あけをしてください。

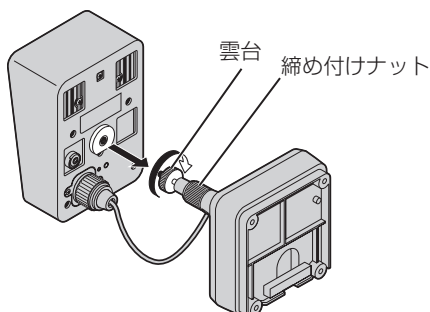
## 7 スタンドをコーキングする

## 8 屋外LANケーブル(長さ約0.2 m)をスタンドカバー中央の穴に通し、下部の穴からスタンドの外に出す

## 9 スタンドカバーを取り付ける

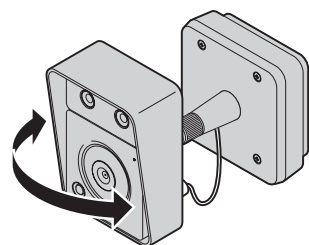
● ねじA(4本:4 mm×20 mm)で4ヵ所固定してください。

## 10 防水用スポンジを屋外LANケーブル(長さ約0.2 m)に差し込み、スタンドカバー中央の穴の中に押し込む

## 11 カメラに安全ワイヤーを取り付ける

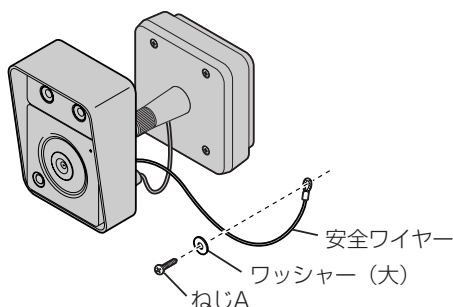
● ねじB(1本:2.6 mm×10 mm)とワッシャー(小)で安全ワイヤーを取り付けてください。

## 12 防水キャップ、防水ゴムAをLANケーブルに取り付ける

● 防水ゴムAにはスリットがついています。スリットから防水ゴムAを差し入れてください。

## 13 LANケーブルをカメラに接続し、防水ゴムA、防水キャップを差し込む

● LANケーブルを接続するときは、「カチッ」という音がするまで差し込んでください。
● 防水キャップは、最後まできちんと締めてください。

## 14 カメラを雲台に取り付ける

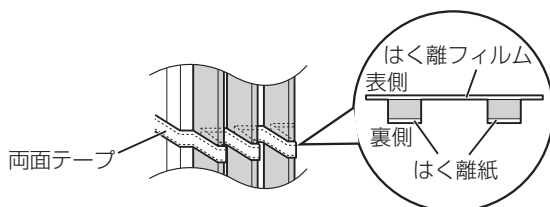
● 角度を調整するとき、雲台の締め付けナット(スタンド側)を少し緩めると、角度の調整がしやすくなります。カメラの角度を調整後、雲台の締め付けナット(スタンド側)は最後まできちんと締めてください。

## 15 カメラの角度を調整する

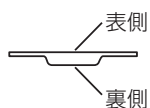
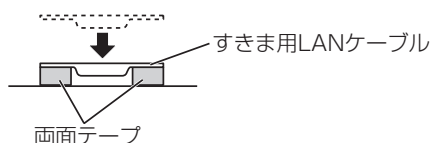
● 図のように、ケーブルを下方向にたるませてください。

## 16 安全ワイヤーをたるませて、ねじAとワッシャー(大)で壁に取り付ける

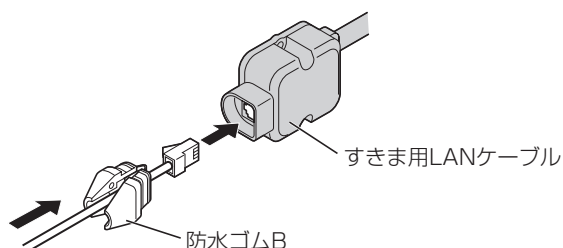
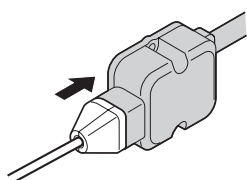
●壁の材質がモルタルやコンクリートの場合は、アンカーを使用し、確実に固定してください。(☞ 23 ページ)

お願い

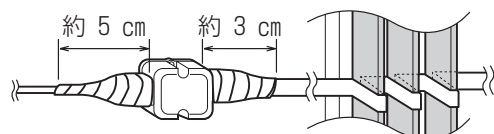
●スタンドにぶらさがったり、カメラ以外のものを固定しないでください。

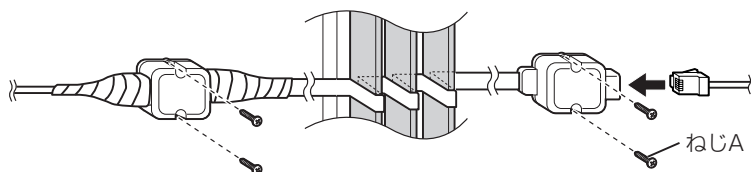
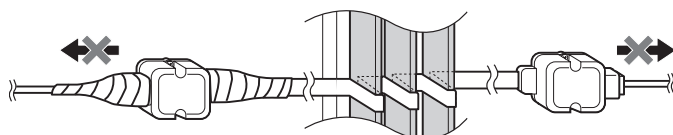
## 17 すきま用LANケーブルをサッシに取り付ける

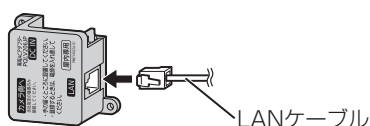
**❶ 両面テープ(付属品)裏側のはく離紙をはがし、ケーブルを取り付けたい場所にはる**

- 両面テープは、開閉回数の少ないサッシに取り付けてください。
- 防犯上、すきま用LANケーブルは高いところに取り付けることをお勧めします。
- すきま用LANケーブルは、鋭利な形状の物が接触する場所や、強い負荷のかかる場所には設置しないでください。
- すきま用LANケーブルは、雨戸やシャッターなどがある窓には取り付けできません。

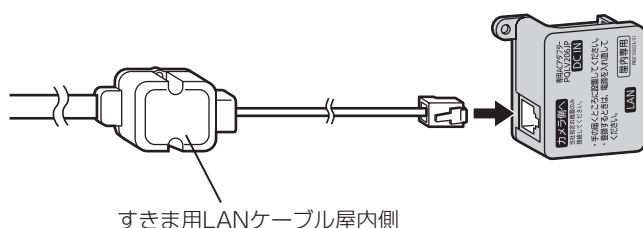
**❷ すきま用LANケーブル裏側を、両面テープ表側に合わせた後、しっかり折り曲げて形づけをする**

**❸ 両面テープ表側のはく離フィルムをはがし、図のようにすきま用LANケーブルの裏側を両面テープにはり付ける**

## 18 屋外LANケーブル(長さ：約8 m)をすきま用LANケーブルに接続する

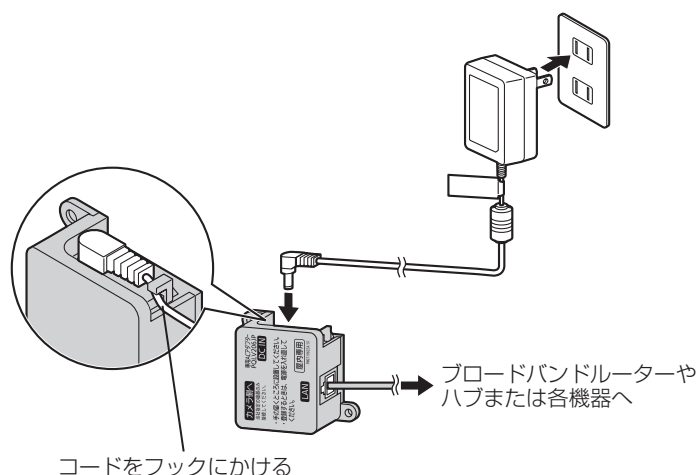
❶ 屋外LANケーブル(長さ：約8 m)を防水ゴムBに通し、すきま用LANケーブルの「データ/電源」端子に差し込む

❷ 防水ゴムBをすきま用LANケーブルの接続部に差し込む

## 19 屋外側のすきま用LANケーブルの接続部(2カ所)を自己融着テープで巻く

- テープを巻くときは、テープを2倍の長さまで引き伸ばして、幅の約半分を重ねて巻いてください。巻き終わりは引き伸ばしを緩めて、軽く指で押さえて巻き止めをします。その後、全体も同じように指で押さえて定着させてください。(さらに自己融着テープの上からビニールテープで保護することをお勧めします。)

## 20 必要に応じて、すきま用LANケーブルの両端をねじAで固定する

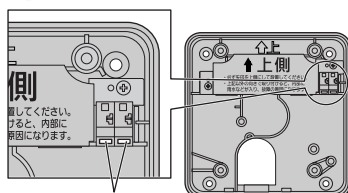
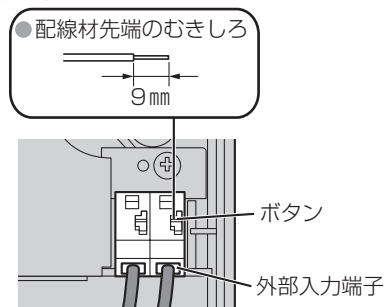
- 必要に応じて、すきま用LANケーブルの両端をねじA (4本：4 mm×20 mm)で固定し、屋内側のLANケーブル(市販品)を接続してください。
- アンカーを使用する場合は、23 ページを参照してください。

- 両端のLANケーブル接続部は引っ張られないように配線処理してください。

## 屋内側のケーブル配線

### 1 家庭内LAN側のLANケーブルを、送電装置の「LAN」端子に差し込む

- 送電装置を家庭内LANに接続するためのLANケーブルは付属品には入っておりません。お客様ご自身で用意してください。
- 送電装置は、ねじA（4 mm×20 mm）を2本使用して固定することもできます。

### 2 すきま用LANケーブルの屋内側に接続したLANケーブルを送電装置の「カメラ側へ」端子に差し込む

### 3 ACアダプターを送電装置に接続し、ACアダプターのプラグを、コンセント（AC100 V）に差し込む

- カメラが起動します。

## 外部入力端子について

外付けのセンサー(アラーム)を使うときに使用する外部入力端子がスタンドにあります。必要に応じてご使用ください。

● 端子への接続は、電源を切り、カメラをスタンドから外した状態で行ってください。

● 配線材の抜き差しは、各端子の上にあるボタンをドライバーの先などで押しながら行ってください。

### 外部入力端子

下記のような外付けの人感センサーを使うときに使用します。

**外部人感センサー(推奨品:動作確認済み)**

| 竹中エンジニアリング(株)製 | 品番:MS-100A(AC100 V 配線が必要) |
|---|---|

● 設置は、推奨品に付属の説明書に従い、確実に行ってください。

● 設置位置の参考例は、17 ～ 18 ページを参照ください。

### 外部入力端子の仕様

● みえますねっとLiteで使用する場合には、端子を短絡すると検知します。(a接点)

● 一時保存/転送の動作条件で、アラーム(外部入力端子)を使用する場合は、短絡または開放を選択できます。

開放時電圧:約3 V

短絡時電流:約0.6 mA(短絡/開放 連続0.2 秒以上で検知)

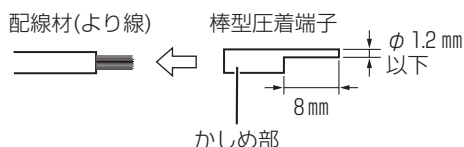
### 線種と配線距離

下表の線種・配線距離以外で使用されると、動作不良の原因になります。

| 配線区間 | 線種 | 配線距離 |
|---|---|---|
| 外部入力端子～接続機器 | 単芯線(mm):φ0.4～φ1.6 | 接続する機器の仕様に従う(ただし、20 m 以内) |

### お願い

● 配線材の線種が「より線」の場合は、棒型圧着端子(市販品)を取り付けてから接続してください。(配線材の隣りどうしがショートしないようにしてください。)

設置説明

カメラを設置する

# センサーの検知範囲／感度を調整する

カメラを設置した状態で、人感センサーと動作検知の検知状況をカメラのシングル画面やLEDライトで確認することができます。必要な場合は感度や検知範囲を調整することができます。

## カメラ設置時の人感センサーと動作検知の検知範囲確認方法について

カメラの状態表示設定機能、または、検知時のLEDライト点灯機能を使って、検知範囲を確認することができます。

### 状態表示設定機能で確認する

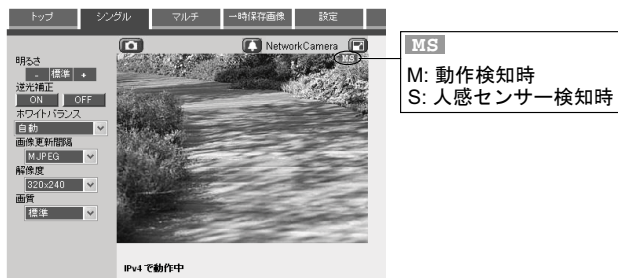
人感センサー検知時、または、動作検知時にシングル画面の右上に検知状態を表示することにより、検知範囲を確認することができます。人感センサー検知時は「S」、動作検知時は「M」が表示されます。

**1** かんたんガイドを参照し、カメラのシングル画面を表示させ、[設定]タブをクリックする

**2** [画像表示]をクリックする

**3** [表示設定]の[状態表示]で、[表示する]にチェックをつけて、[保存]をクリックする

**4** [シングル]タブをクリックする

シングル画面の右上に「M」または「S」が表示され、検知状況を確認できます。

さらに正しく検知するために、人感センサーや動作検知の感度設定で調整することもできます。
（☞ 32 ページ）

## LEDライト点灯機能で確認する

一時保存／転送の動作条件を設定することで、人感センサー検知時または動作検知時にLEDライトが点灯します。これにより、検知範囲を確認することができます。

### 1 かんたんガイドを参照して、カメラのシングル画面を表示させ、[設定]タブをクリックする

### 2 [動作条件]をクリックする

### 3 [動作条件]のNo.1をクリックする

**お知らせ**

- 検知範囲を確認する場合は、動作条件は１つのみ有効にしてください。複数の動作条件を有効にすると、正しい検知範囲の確認ができなくなります。

### 4 [設定を有効にする]にチェックをつける

### 5 動作検知範囲を確認する場合は、[動作条件]で[動作検知]を選択する<br>人感センサー検知範囲を確認する場合は、[動作条件]で[センサー]を選択する

### 6 [保存]をクリックする

さらに正しく検知するために、人感センサーや動作検知の感度設定で調整することもできます。（☞ 32 ページ）

**お知らせ**

- LEDライト点灯機能で検知範囲を確認する場合は、カメラ画像のモニタリングをしないでください。カメラ画像をモニタリングするとLEDライトが点灯状態になるため、検知範囲の確認ができなくなります。
- 検知範囲確認終了後は、上記設定をもとに戻してください。

## 人感センサーと動作検知の感度調整方法について

検知の感度を調整することにより、正しく検知できるように調整することができます。

### 1 検知させたい被写体で確認・調整する

カメラを設置した状態で、検知させたい場所、および人物の進行方向でセンサーが検知するかどうか確認してください。

**■正しく検知する場合**

手順2に進んでください。

**■検知しない場合**

「検知範囲と特性」（☞ 10 ページ）、「人感センサーの感度について」（☞ 34 ページ）を参照し、以下の設定を行ってください。

**「状態表示設定機能」で「S」が表示されない場合**

● 人感センサーの感度の調整を以下の手順にしたがって行ってください。

**❶ [設定]タブをクリックし、[センサー感度]をクリックする**

**❷ 感度を選択し、[保存]をクリックする**

感度による検知範囲は、「人感センサーの感度について」（☞ 34 ページ）を参照してください。

● 人感センサーの感度を「高」に設定しても正しく検知できない場合は、外部センサーを設置してください。（☞ 17～18, 29 ページ）

**「状態表示設定機能」で「M」が表示されない場合**

● 動作検知の感度（[しきい値]と[感度]）の調整を次のページの手順にしたがって行ってください。

❶ [設定]タブをクリックし、[動作検知感度] をクリックする

❷ [しきい値]および[感度]バーをクリックし、[保存]をクリックする

詳しくは、セットアップCD-ROM内の取扱説明書を参照してください。
（➔CD-ROM内の取扱説明書：「[C3-7] 動作検知の感度を調整する」）

## 2 検知させたくない被写体で確認・調整する

道路を行き来する通行人や車など、検知させたくない被写体でセンサーが誤って検知しないかどうかを確認してください。

### ■誤って検知する場合

「検知範囲と特性」（☞ 10 ページ）、「人感センサーの感度について」（☞ 34 ページ）を参照し、以下の設定を行ってください。

**「状態表示設定機能」で「S」が表示されて誤って検知する場合**

- 誤って検知するものの方向をふさぐように、センサー範囲調整キャップを適切な角度で取り付けてください。（☞ 38 ページ）
- 誤って検知するものが人感センサーの検知範囲からはずれるようにカメラの向きを変えてください。（☞ 25 ページ）
- 人感センサーの感度を 1 ランク下げて調整してください。
- 人感センサーの感度を「超低」に設定しても誤って検知する場合は、外部センサーを設置してください。（☞ 17～18, 29 ページ）

調整が完了したら、手順1にしたがって、検知させたい被写体で正しく検知するかを再度確認してください。

**「状態表示設定機能」で「M」が表示されて誤って検知する場合**

- カメラの位置と動作検知の感度を[しきい値]と[感度]で調整してください。

調整が完了したら、手順1にしたがって、検知させたい被写体で正しく検知するかを再度確認してください。

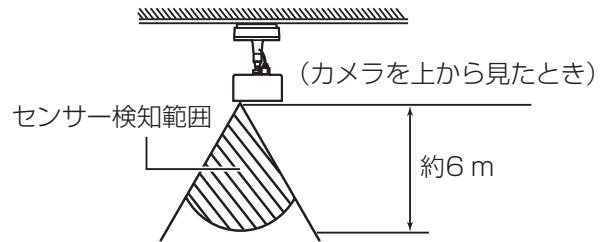
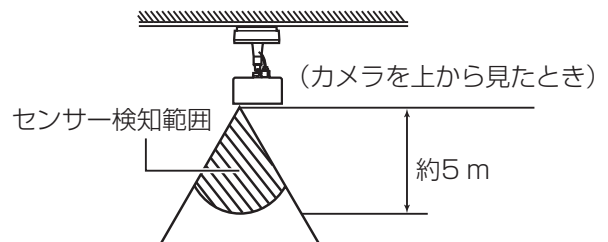
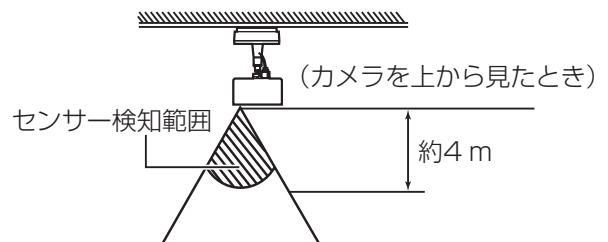
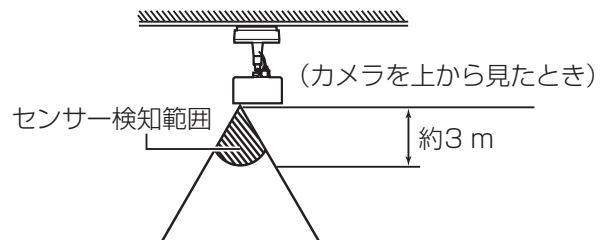
## 人感センサーの感度について

カメラ本体の「センサー感度」を変更することにより、以下のようにセンサー検知範囲が変わります。

●センサー検知範囲は、あくまでもめやすです。
カメラ設置場所の周囲温度や環境により検知範囲は変わります。

### 〔周囲温度：20 ℃のとき〕

**■感度が「高」の場合**

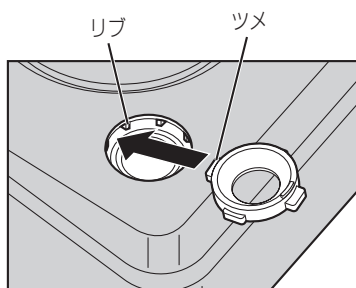
- カメラ設置場所の環境によってセンサーの感度を上げないと使用できないときに設定してください。
- この設定にすると、風や撮影範囲外で反応しやすくなります。

**■感度が「中」の場合**

**■感度が「低」の場合**

**■感度が「超低」の場合**

## センサー範囲調整キャップについて

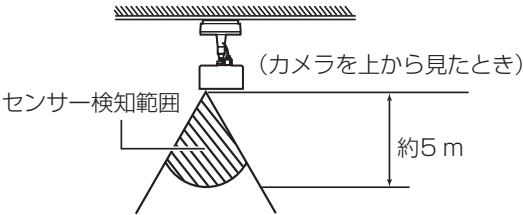
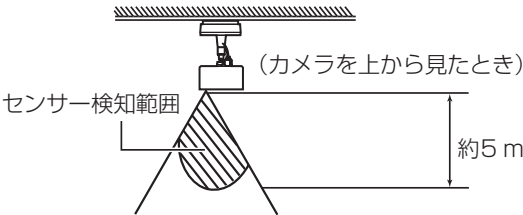
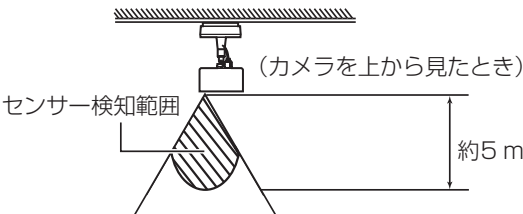
人感センサーで検知させたくないものがある場合、センサー範囲調整キャップを取り付けることによって、センサーの検知範囲を調整することができます。ただし、カメラ設置場所の周囲温度により検知範囲は変わります。

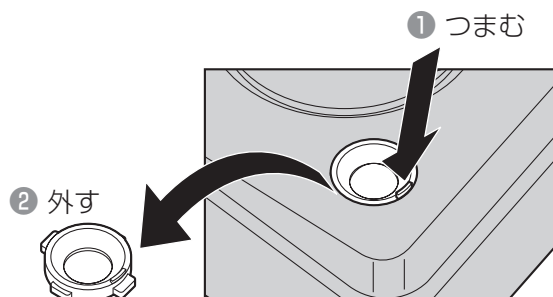
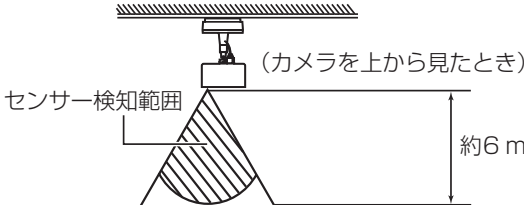
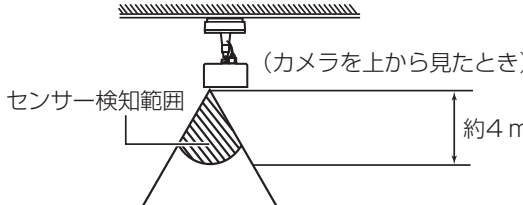
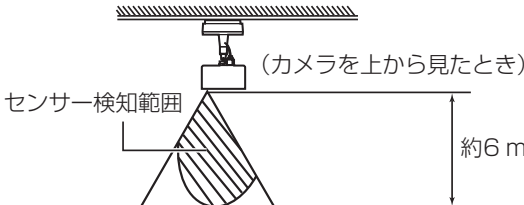
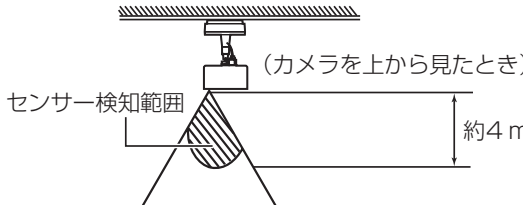
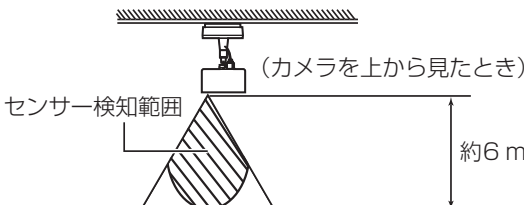
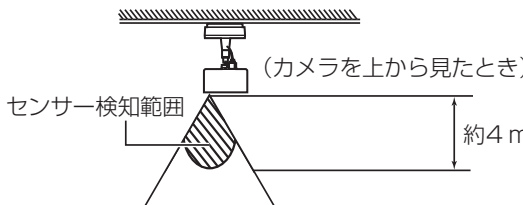
### 取り付け方法

センサー範囲調整キャップは、標準（お買い上げ時に本体に装着）、キャップ1、キャップ2、キャップ3の4種類があります。それぞれのキャップは、ふさぐ方向と度合いが異なり、取り付け方向は45°単位で回転させることができます。適切なキャップを適切な方向で取り付けてください。それぞれのキャップの検知範囲は次のページを参照してください。

**■取り付け方法**

ご希望のセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。（☞ 36 ページ）
キャップのツメを溝に合わせて入れてください。

**お願い**

● 人感センサーの性能に影響をおよぼすことがあるので、キャップのツメを溝にきちんと合わせて取り付けてください。

**■取り外し方法**

図のようにキャップを取り外してください。

**センサー範囲調整キャップの検知範囲**

センサー範囲調整キャップを取り付けることによって調整できるセンサーの検知範囲は、カメラ設置場所の周囲温度により変わります。以下の一覧でセンサーの検知範囲を確認してください。ただし、「センサー感度」（☞ 34 ページ）が「中」のときのあくまでもめやすの検知範囲です。

| センサー範囲調整キャップ | 周囲温度：20 ℃のとき |
|---|---|
| 標準<br>（お買い上げ時に本体に装着） | （カメラを上から見たとき）<br>センサー検知範囲<br>約5 m |
| ■カメラから見て右側に隣家の壁または、道路などがあり、右側を検知させたくないとき<br>↓<br>付属のキャップ2または、キャップ1を下図の向きに取り付ける<br>キャップ2　キャップの横に番号の表示があります。<br>キャップ1　キャップ2より右側部分をさらに検知させたくないときは、キャップ1を取り付けてください。<br>Panasonic<br>※カメラから見て左側を検知させたくないときは、キャップ2またはキャップ1を逆向きに取り付けてください。（この場合、右記の検知範囲も逆になります。） | （カメラを上から見たとき）<br>センサー検知範囲<br>約5 m<br>（キャップ2の場合） |
| ■カメラから見て右側に隣家、左側に道路などがあり、どちらも検知させたくないとき<br>↓<br>付属のキャップ3を下図のように取り付ける<br>キャップ3 | （カメラを上から見たとき）<br>センサー検知範囲<br>約5 m |

**お知らせ**

● センサー範囲調整キャップの取り付け角度に応じて、図の検知範囲も回転します。

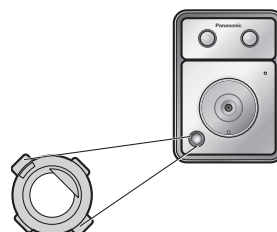
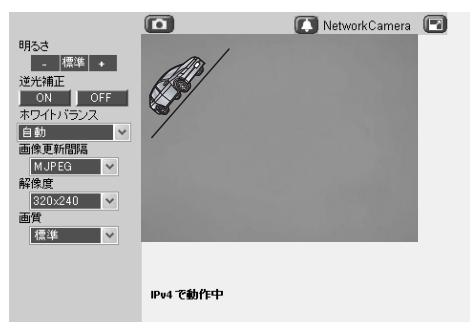
周囲温度：0 ℃のとき
周囲温度：30 ℃のとき
（カメラを上から見たとき）
センサー検知範囲
約6 m
（カメラを上から見たとき）
センサー検知範囲
約4 m
（カメラを上から見たとき）
センサー検知範囲
約6 m
（キャップ2の場合）
（カメラを上から見たとき）
センサー検知範囲
約4 m
（キャップ2の場合）
（カメラを上から見たとき）
センサー検知範囲
約6 m
（カメラを上から見たとき）
センサー検知範囲
約4 m

## センサーの誤検知を防ぐ

### 人感センサーの場合

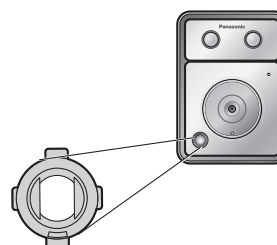
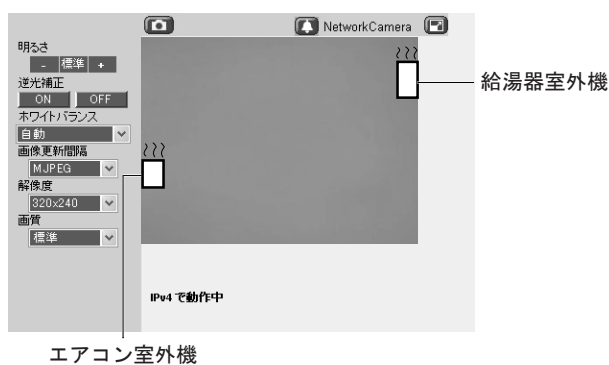
（例１）

画面上に車道の車が映っている場合は、車が映る部分をふさぐようにセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。（☞ 35 ページ）

下の図のように、画面の左上に検知させたくない車道の車が映るので、センサー範囲調整キャップ1または2をカメラから見て左上（カメラに向かって右上）をふさぐ方向で取り付けます。

（例２）

給湯器やエアコンの室外機のように熱を発するものが画面上にある場合は、その部分をふさぐようにセンサー範囲調整キャップを取り付けてください。（☞ 35 ページ）

下の図のように、画面の右側と左側に検知させたくない給湯器やエアコンの室外機が映るので、センサー範囲調整キャップ３を左右をふさぐ方向で取り付けます。

エアコン室外機

### 動作検知の場合

小さな動作を検知したい場合や過度に検知したくない場合などに調整します。動作検知の感度は、被写体の明るさや設置環境により変わります。
詳細は、セットアップCD-ROM内の取扱説明書を参照してください。（➔ CD-ROM内の取扱説明書：「[C3-7] 動作検知の感度を調整する」）

### 外部センサー(アラーム)を使う

センサー感度設定やセンサー範囲調整キャップでも正しく検知できなかったり、誤って検知したりする場合は、外部センサー（アラーム）を使ってください。（☞ 17 ～ 18、29 ページ）

# LANケーブルの取り外し方法

カメラの「DATA/POWER IN」端子からLANケーブルを取り外す場合は、マイナスドライバーなどを使って取り外してください。